

庄内地域の小・中学校の現状と課題についての説明及び意見交換の概要

豊中市教育委員会では、平成 26 年(2014 年)6 月 19 日(木)から 7 月 11 日(金)にかけて、庄内地域の小・中学校の現状と課題についての説明及び意見交換を、庄内地域 3 中学校・6 小学校のおもに PTA 運営委員等の皆様を対象に実施させていただきました。その際、ご出席の皆様から多くのご意見・ご質問を頂戴しましたので、その質疑応答についてまとめました。

教育委員会としましては、今後も保護者や地域住民の皆様と継続的に話し合いながら、庄内地域のより充実した教育環境をめざす具体的方策の検討を進めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

※説明及び意見交換を実施した学校名、会議体(会議名)、実施日等について

庄内地域の 3 中学校ならびに 6 小学校において実施し、計約 260 名の皆様に説明及び意見交換をさせていただきました。

学校名	会議体(会議名)	実施日
第六中学校	第六中学校 PTA 実行委員会	6月25日(水)
第七中学校	第七中学校 PTA 運営委員会	6月26日(木)
第十中学校	第十中学校 PTA 実行委員会	7月11日(金)
庄内小学校	庄内小学校 PTA 運営委員会	7月11日(金)
庄内南小学校	庄内南小学校 PTA 運営委員会	7月11日(金)
庄内西小学校	庄西子どもを守る会	6月19日(木)
野田小学校	野田小学校 PTA 運営委員会	7月 1日(火)
島田小学校	島田小学校 PTA 運営委員会	7月10日(木)
千成小学校	千成小学校 PTA 実行委員会	7月 1日(火)

いただいたご意見やご質問については、関連項目ごとにまとめて整理するとともに、趣旨を損なわないように要約しています。

<問い合わせ先>

豊中市教育委員会事務局 教育総務室 企画チーム

〒561-8501 豊中市中桜塚 3 丁目 1 番 1 号(豊中市役所第一庁舎 6 階)

電話 06-6858-2705 FAX 06-6845-6778

電子メール kikakuseisaku@city.toyonaka.osaka.jp

●小規模校課題について(メリット、デメリット等)

質問・意見等	回答等
【意見】我が子は入学以来ずっと単学級のままです。クラス替えを経験していません。卒業して、中学校に入学してからが心配です。今迄ずっと小さな集団の中でしか育てこなかった子どもたちが、急に中学校の大きな集団に入って、その中で上手く対応できるかどうか不安です。親としてとても心配しています。	教育委員会では、昨年度から、1クラスの人数でも2クラスにできる「学級編制の弾力的運用」も一部実施していますが、根本的な解消にはつながっていません。今後、いろいろな角度からのご意見を皆様からいただき、検討を進めていく必要があると考えています。
【質問】小規模ならではのきめの細かい教育を進めることができたらと思います。生徒数が少なくなっても、今までと同じ教員数を確保していくことは難しいのでしょうか？(教職員)	教員の人数については、児童生徒の人数に応じて法律で定められた基準があります。豊中市は、市独自に「学級編制の弾力的運用」等の施策も行っていますが、抜本的な課題の解消にはつながっていません。
【意見】生徒の数が減ると教員の数も減りますが、それだけをもってよくないとは思いませんし、何とかうまくやっていけたらと考えています。学校によって、それぞれ子どもたちの様子も違います。その学校の良さを活かしながら、いろいろなことをやっていけたらと思います。(教職員)	
【意見】例えば、小規模校になると教員の人数が減るため、教科担任制の中学校では1人の教員が複数の学年の担当教科を受持つことになります。学年をまたがるため、授業以外で生徒の様子を見に行く時間がなかなか確保しづらくなると感じています。小規模校になって教員の人数が減ると、しんどい面があるのも実状です。(教職員)	
【意見】規模が小さくなると現実には学校運営は厳しいものがあります。単学級が続いている学年でいじめがありました。今は穏やかに勉強できていますが、いじめ等の面でも2クラスあればと思います。(教職員)	
【意見】先程、小規模校のメリットのお話がありましたが、我が子が卒業した小学校の様子を振り返ると、学校が小規模で先生数が少ないため、問題が起こっても迅速に対応してもらえなかったという思いがあります。校長先生や教頭先生も含めた先生方全員が忙しく、それぞれが手一杯で、小規模校であっても迅速には動いて頂けなかった面を感じました。そのあたりの親の不安があることもふまえて検討を進めてほしいと思います。	
【意見】学年 1 学級で、クラス分けができないという状態は、友だちが固定化されてしまうことから何とか解消してあげたいと思います。	
【意見】親としての意見ですが、自分の子どもはずっと単学級で過ごしています。クラス替えを経験させてやりたかったです。	

【意見】小規模校のデメリットに挙がっていた「負担の増大」は子どもたちだけではなく、地域行事等の運営に関わっている保護者も同様であり、ここだけの問題ではないと強く感じています	
【意見】無理矢理にメリット・デメリットを挙げている印象があります。統廃合した方が予算削減できる等、何か別の思惑があるのではないのでしょうか。メリット・デメリットは学校教育の中身の問題として解決するべきではないのでしょうか。教育は根本的なことを考えていかないといけません。簡単な統廃合でとりかえしのつかないことになってはいけません。	
【意見】校区再編ありきのメリット・デメリットはよくありません。少人数できっちりと指導すれば、これほど良い教育はないと思います。豊中市としての教育理念の下、一貫した教育方針をもって成長段階に応じた指導をすることは効果的です。児童数が少なかったとしても、今後どのような工夫ができるのか考える必要があります。	

●分割校について

質問・意見等	回答等
【意見】千成小学校から第七中学校への進学者が少数で、第七中学校へ進学する千成小学校の子どもたちは心細い思いをしています。地域との関係もあって、校区の変更には難しい面もあると聞いていますが、分かれて進学することは解消してあげたいと思います。	
【意見】第七中学校としても、千成小学校から入学する子どもたちへの配慮は必要だと考えています。たとえば、入学人数が少ない年度は、千成小学校からの生徒全員を1つのクラスにするなど、クラス分けの配慮もしています。 (教職員)	
【質問】説明の中で分割校の課題に触れられていましたが、今後、中学校の規模を確保するために通学区域が変更されて、庄内小学校も分割校になるかもしれないので、他にどのような問題があるのかを、教えてほしいです。	例えば、千成小学校から第六中学校と第七中学校に分かれて進学しますが、ほとんどの子どもが第六中学校に進み、第七中学校に進学する割合は2割程度しかありません。さらに第七中学校における千成小学校の子どもたちの割合は少なく、クラス分けをすると同じ千成小学校出身の友だちが1人、2人しかいないという状況になることもあります。また、義務教育9年間を見通した小中一貫教育を行う上で、分割校の存在は小・中学校の教員同士の連絡、調整がしづらいなどの問題があります。 分割校の取り扱いについて、豊中市教育委員会の附属機関である学校教育審議会から「分割校をこれ以上増やすことのないように」と厳しく言われており、仮に第六中学校の通学区域を変更したとしても分割進学となるような線引きは考えていません。
【意見】分割校のメリットもあるように感じます。小学校で友だち関係が上手くいかなかった子が、相手の子どもと別の中学校に行くことによって、新しいスタートが切れることもあると思います。	メリットとデメリットの両方の側面があると思いますが、一般的にはデメリットの方が指摘されています。たとえば、一つの小学校から分かれて少ない人数が進学すると、入学時にクラスで同じ小学校の卒業生が少人数となり、知っている友だちが少ない状態でのスタートとなるため、中学校になじみにくい、といった課題も指摘されています。そういったことから、分割校は解消する方向で考える必要があると思います。
【質問】説明の中で、クラス替えができず人間関係が固定されるのは小規模校のデメリットという説明がありましたが、庄内小学校から全員、第六中学校に進学すれば、9年間、人間関係が固定化されてしまいます。そのことを考えると、分割進学は多様な人間関係が形成できるので、むしろメリットではないでしょうか？	分割進学に関しては、人によって感じ方がさまざまであり、あくまで一般論としてメリット、デメリットを挙げたものです。
【質問】全部進学がよいことは、昔から言われてきたにも関わらず、なぜ今さら分割進学が問題として挙げられる	庄内地域の児童が急増した時代に次々と学校が建てられ、どうしても通学距離等を勘案した結果、分割校が発

のでしょうか。そもそもなぜ分割進学が発生したのでしょうか？	生してしまいました。しかし、ここ数年は児童数が減少し単学級の学年を抱える学校も庄内地域には多くあります。そうしたところも併せて、庄内地域の学校課題について抜本的な解消を図らねばならないと考えています。
【意見】第七中学校へ進学予定の私の子どもは、「引っ越して第六中学校に通いたい。みんなと同じ中学校がいい。」と言っています。	
【意見】単純に一つの中学校へ進学させること、例えば千成小学校の児童を全員第六中学校へ進学させたら、学校規模の格差はどうなるのでしょうか。子どもたちが一つの中学校へ行くという、単純な目的は達成できるのではないのでしょうか。	

●調整区域について

質問・意見等	回答等
【質問】調整区域を無くすのが難しい理由は何ですか？	昭和34年の野田小学校開校に合わせて、同地域の通学区域を野田小学校に変更しようとしたが、歴史的経緯等もあり、結果として調整区域のまま現在に至っています。今迄に地元との協議もなされていますが合意に至らず、市内の調整区域は稲津町のみになっています。
【意見】稲津町の調整区域の課題解消をお願いしたいです。隣同士が異なる学校へ通うことは、地域コミュニティの面からも大きな問題です。多くの人から調整区域が問題であるとの声を聞いています。	子どもたち同士や地域とのつながり、コミュニティ形成の観点から、同じ地域の子どもたちは同じ学校へ通学すべきであるとの認識のもと、今回の庄内地域の課題解消の検討を進める中で一緒に考えていきたいと思います。
【意見】稲津町に昔から住んでいる方々は、子どもや孫を豊島小学校に入学させ、新しい住民は野田小学校に入学させる傾向にあるように感じます。昔からの経緯のあることなので、解決するにはもう一世代替わらなければ、とも思います。	

●まちづくりについて((仮称)南部コラボセンター構想を含む)

質問・意見等	回答等
【意見】庄内地域では大規模なマンション開発も難しいと思います。市がこの地域の活性化をどのように考えているのかも気になるところです。	庄内地域には課題もありますがたくさんの魅力があります。その上で、今後、学校の魅力をさらに大きなものにして、この地域に人を呼び込むという考え方もできると思います。 教育委員会だけではなく、市の様々な部局とも連携して検討を進めていきます。庄内のまちづくりの観点も踏まえて、慎重に考えていきます。単なる数合わせではなく、子どもたちにとってより良い教育環境をつくるとともに、この地域の活性化につながるよう検討をしていきたいと思っています。
【意見】子どもの数が減少する中、課題を解決するには学校の統廃合しかないという話だと思いましたが、(教育委員会に言っても仕方ありませんが)豊中市は南部地域に子どもを増やす取り組みをすべきではないでしょうか。	地域の魅力・地域の機能を高めることは大切であり、教育委員会としては教育の観点から、小・中学校をより良くしていきたいと考えています。南部コラボセンター構想が動いており、南部の老朽化した公共施設をリニューアルするとともに、どのような機能が地域に望まれるかについて検討をしています。そこへ教育委員会も参画しており、市全体として南部の活性化や魅力を高めるための議論が進められています。学校としてもどういった機能を付加できるのかを考えたいです。
【意見】子育てをしている側としては、医療費の控除等、教育だけでなく行政のいろいろな分野を総合し、豊中市全体として子育てしやすい環境を整えて欲しいです。そうすれば、他市からの転入者も増加し、子どもが増加すると思います。	
【意見】この地域は住みやすいですが、今のままでは、今後、子育て世代がこの地域にたくさん引っ越してきて将来的に子どもが増えるというのは難しいとも思います。新しい住民を増やすためにも、今後、さらに住みやすい地域にして欲しいと願っています。	
【意見】教育の問題となると重苦しく、みんながなんとかしたいと思いますが、簡単には解決しないことです。問題解決を図るための観点が違うところにもあるのではないのでしょうか。地域と学校は一体化していかないといけません。現場の学校の先生方は地域にも協力的でたいへん有り難く、最大限頑張ってくれています。北部の一部に子どもが集まり、南部に子どもが集まらないのは、南部が教育等の魅力に欠けているのかもしれませんが。教育行政でそうした面の見直しもお願いしたいです。	
【意見】魅力ある学校の機能として、教育センターにある教育相談機能が必要であると思います。南部には学力	

等の課題があるため、教育センターの南部支部のようなものの設置をお願いしたいです。小中学生やその親を含めて、広く相談にのっていただける機能が望まれます。	
【意見】南部に学力面での課題があると考えて、北部へ引っ越す人もいます。南部にもっと人が集まるような、子どもたちの教育環境にとって良い魅力があればと感じます。	

●学校の配置のあり方について(統廃合等)

質問・意見等	回答等
【質問】学校の校数そのものが減ることもあるのでしょうか？	学校の統合も選択肢の一つになろうかと考えますが、現時点で具体案を持っている訳ではありません。今後、皆様からのご意見もお聞きしながら、より良い方向を検討していきたいと思います。
【質問】千成小学校が庄内南小学校と一緒にするという声は以前からありました。両小学校は最終的には統合されるのでしょうか？	可能性としてはあると思います。もちろん統合には賛否両論があります。統合は簡単にできるものではありません。まずは地域の現状や課題を皆様に知っていただき、その上でご意見もいただきながら、慎重に検討していきたいと考えています。
【質問】学校を統廃合した後の敷地の活用などは具体的に計画されていますか？	現時点では具体的な計画は持っていません。今後、皆様のご意見もいただきながら課題解決に向けての検討を進めることになります。学校は地域コミュニティの中心でもあり、非常災害時の避難施設でもあることから、皆様と慎重に考えていきたいと思います。
【意見】千成小学校と庄内南小学校が統合されるという噂も聞いています。地域の中にも、昔から千成小学校に携わってきた人の思いから、残してほしいという声もあります。千成町には、第七中学校に携わっている人も多くいます。兄弟間で、兄は第七中学校、弟は第六中学校に通うというのは望ましくありません。よく考えて動いてほしいです。	
【意見】庄内地域の子どもの減少は否めない事実です。学校の統廃合も考えないといけないと思います。	
【意見】以前から校区再編の話はあり、通っている当事者よりも、地域・分館との調整が難しいと言われていました。児童数は減少するので、統合するしかないと思います。私が子どもの頃はプレハブ校舎が建ち、大人数の中で生活してきたので、それが当たり前だと思っていました。線引きをどうするのか、学校を1つにするか2つにするか、慎重に検討する必要があります。	
【意見】メリット・デメリットはありますが、やってみないとわかりません。学校規模が大きくなれば、多くの子どもの中で切磋琢磨することができ、子どもの心も強くなります。大人になり社会へ出た時の心の健全性が保たれます。例えば各小学校1学年5クラスにするというように、決め打ちで再編を進めるという考え方もあると思います。	

●小中一貫、小小連携について

質問・意見等	回答等
【意見】私は市外の出身です。私が小学生の頃は、中学校の校区内の複数の小学校が集まって合同で運動会をしていた記憶があります。豊中市では、将来同じ中学校へ行く近隣の小学校同士で交流をすることがあまり無いように思うのですが。交流の場が、中学校進学前に子どもたちが知り合える機会にもなると思います。	子ども同士のつながりはとても大切だと思います。各校では可能な範囲でさまざまな工夫をしています。また、小学校の子どもたちが進学する中学校と交流することも行われていますが、分割校ということから、日程調整も含めて難しい面もあるようです。
【意見】分割進学されている方の意見は大事であり、聴き取るべきです。小中高大までの一貫した教育方針について、国としてのポリシーのようなものがあればよいのですが、ありません。小中一貫となった教育の考え方、小学校高学年から中学校へのつながりが大切です。	
【意見】例えば 1 か月間、千成小学校と庄内西小学校で合同授業を行い、子ども・先生の交流を図ってみてはどうでしょうか。他の学校の授業はこんなものなのかという気づきが生まれると思います。	

●今後の検討の進め方について

質問・意見等	回答等
【質問】具体的にはどのくらいの期間で変えていく予定ですか？	現時点で具体案を持っている訳ではなく、今年一年間をかけて、皆様のご意見もいただきながら、来年度中には方向性を固めたいと考えています。そして、例えば、通学区域の変更や配置の在り方そのものに着手することになりますと、そこから何年かをかけて具体化を進めることになると思います。
【質問】最終的には庄内地域の学校を減らす方向なのでしょうか？話し合いの中で進めるつもりですが、落しどころはどこになるのでしょうか？地域・保護者・子どもの意見のとりまとめは、何年かかってもお願いしたいです。噂では統廃合の話がでていること等知っていますが、どういったかたちで（南部再編の）話が進んでいくのかについて、心の準備が必要です。	地域のご意見をお聞きしながら決めていきたいと考えています。現状として最終的な方向性は決まっていません。子どもが少ないことによるメリットもあります。統廃合で子どもが増えたとしても、校区が広がること等によるデメリットも新たに生まれます。地域・保護者・子どもの観点から様々なご意見をいただき、課題を把握していきたいと考えています。今年一年間は小学校・中学校・PTA・地域等とのやりとりを積み上げ、来年度ぐらいには方向性を示すつもりです。市全体として学校規模にアンバランスが生じていますが、その中でまずは南部から検討していきます。
【意見】学校の小規模化が進むと、教科担任制の中学校では、学校全体で 1 教科あたり 1 名の教員配置というケースが予想されます。そのような状況では、中学校としての運営に厳しさを感じます。先延ばしできない話であり、本気になって早期に結論を出さないといけないところまで来ていると思います。昔からの人の思いもありますが、何よりも今の子どもが大切です。（教職員）	慎重に、かつスピード感と危機感を合わせ持ち、検討を進めてまいります。その上で、来年度中には一定の方向性を固めていきたいと考えています。
【質問】今後も今回のような機会を設けてもらえると理解してよいでしょうか？	まずは庄内地域の小・中学校の現状を理解していただくため、対象となる小学校 6 校、中学校 3 校の PTA 等の皆様に説明させていただいています。今日、初めてこのような話を聞かれた方もおられると思います。これからも説明等に来させていただきたいと考えています。
【質問】大規模な学校が集まっている北部や中部では、このような話をしないのでしょうか？	大規模校が集中している市北部や中部、大規模な学校と小規模な学校が隣接している千里地域、市内に 14 校存在する分割校など課題は多いですが、全てを一度に対応することはできません。教育委員会としては、南部地域は喫緊の課題と認識しており、今年度から検討に着手することとしています。
【意見】地域からの意見は、行政が集約する際の判断材料になります。まとまったかたちでなくても、できる限り意見を出すことが大事です。（教職員）	
【意見】以前から長くこの地域に住む人たちの考えも尊重しながら、今後、PTA としても、この問題を考えていければと思います。	

●その他

質問・意見等	回答等
【質問】豊中市内でも北部は子どもが減っていないと聞きます。どうして庄内地域がこれほど減少するのでしょうか？ 教育熱心な人は北部に住みたがると聞きますが、そのようなことが影響しているのでしょうか？	北部については、千里ニュータウンを中心にマンション等の大規模な集合住宅が多いこと、またその建替えが進んでいることなどが子どもの数に影響していると思われます。全国的には、庄内地域と同様に少子高齢化が進んでいます。
【質問】第十八中学校が開校した昭和 61 年度(1986 年度)以降、通学区域の変更はないのでしょうか？	課題にもとづいた通学区域の大きな変更は、平成 17 年度(2005 年度)まではございましたが、平成 18 年度(2006 年度)以降は行われていません。
【質問】10 年程前に一番大きな問題として挙げられていた、第十一中学校の問題(生徒数が多い、複数小学校からの進学)についてどう考えているのでしょうか？	現状、将来推計では落ち着いているという判断ですが、適正な状態であると思っているわけではありません。一度に全ての課題を解消できませんので、全体で優先順位をつけて検討していきます。
【質問】電話や窓口の他にも、例えばインターネットで問い合わせができるシステム等、何かあるのでしょうか？(教職員)	資料の 14 ページにメールアドレス等を載せているので、直接メールをしていただく等、都合の良い方法で問い合わせさせていただきたいです。
【意見】第十二中学校の校区のように分割校が無いのが理想だと思いますが、解決するには難しい面もあると思います。子どもが少ないからと言って、今から少子化対策を進めても、生まれた子どもたちが小学校へ入学するまでにはまだ年数がかかります。いずれにせよ難しい課題だと思います。	
【意見】なぜこんなに子どもが減るのでしょうか。教育に子どもを増加させるような内容を盛り込むべきです。まずは、児童数のもととなる子どもを増やすことが必要です。	
【意見】「魅力ある学校づくり」を考えると、南部地域の大きな課題である学力問題に取り組む必要があります。学力が向上し、その評判が伝われば、人が集まり、子どもが増えると思います。	
【意見】高校が南部地区に 1 つもないのはいかがなものでしょうか。高校の配置がアンバランスであり、良くありません。学校を良くしていかなければいけないのに、学校が減るのはよいことなのでしょうか。	
【意見】南部地域での永住を考える際に、高校があれば魅力を感じるのではないのでしょうか。	